

市長への手紙 ご意見とその回答(令和5年9月)

質問	<p><u>避難所へのペット同行について</u></p> <p>台風の時、ペットとの同行避難(急避難)場所の開設をお願いします。ペットだけおいてはいけない。万が一災害を想定したとき不安です。</p> <p>小中学校に人の避難スペースをつくり、別の教室にペット連れ専用の同伴避難スペース作っていただけませんか。ペットを飼っている人々は皆困っています。</p>
回答	<p>ペットとの避難につきまして、現在、本市では基本的などの避難所においても、ペットを連れて避難いただくことは可能となっております。</p> <p>しかしながら、龍ヶ崎市の避難所運営マニュアルにおいて、動物が苦手な方やアレルギーをお持ちの方等に配慮し、ペットについては、介助犬を除き避難所内の居住スペースには入れないこととなっております。そのため、小中学校においては、主に雨風を凌げる駐輪場の屋根がある場所など、避難所内の別の場所で、それぞれが持参したケージやクレートの中で過ごしていただくこととなります。</p> <p>ご提案いただきました小中学校の教室の利用については、上記と同様の理由で、動物が苦手な方やアレルギーをお持ちの方、避難所の閉鎖後に小中学校へ通う児童・生徒への配慮のため、難しい状況となっておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>本市といたしましても、ペットとの同行避難を不安に思われている方が、安心して一緒に避難することができるよう、ペットとの避難に関する飼い主の心得や注意点等についての周知・広報を実施してまいります。</p> <p>【担当:防災安全課】</p>

質問	<p><u>駅前ステーション送迎廃止について</u></p> <p>現在、生後七ヶ月の子を育児中です。駅前ステーションの送迎廃止の噂を聞きました。子供を授かる前からこの制度やさんさん館などの支援センターをリサーチしていました。</p> <p>最近では支援センターも LINE で予約も出来、とても便利になり、ますます龍ヶ崎に惚れ込んでいます。</p> <p>駅前ステーションの送迎はほんとに素晴らしいと妊娠前から思っていました。車に乗れない夫に朝の送り出しをお願いできたり、お迎えも夫婦で分担できるのでとてもありがたい制度だと龍ヶ崎に引っ越してきて良かったと夫婦で話していました。</p> <p>たとえ希望の保育園が遠くても2歳からは送迎お願い出来、保育園選択の幅も広がるのでそれを念頭に現在園を探しています。茨城県初の取り組</p>
----	---

	<p>みであることも知り廃止の噂を聞いたときには衝撃でした。</p> <p>現在保育園の見学をしている中、龍ヶ崎市内は広いので自宅から5分の園もあれば30分の園もあります。朝、仕事の前に送る際、どうしても園までの距離を考えないと間に合いません。選択肢が狭まるのは本当にいい園と思えても泣く泣く諦めるしかありません。</p> <p>フルタイムだと先が思いやられます。帰りもステーションにお迎えに行けるシステムはほんとに素晴らしいです。コロナ開けて在宅から通勤になる方も増えるのではないのでしょうか。育休復帰後、転職の際にも駅を利用する方も増えるのではないのでしょうか。今後、親にとって、龍ヶ崎市にとってはなくてはならないものになると思います。</p> <p>どうかどうかこのシステムを廃止にせず、再検討していただけるとありがたいです。</p>
<p>回答</p>	<p>駅前こどもステーションは、子育て相談や0歳児から3歳児までのお子さんと保護者が集える交流の場を提供する子育て支援センターと、送迎ステーションと、2つの機能をもった施設となっております。</p> <p>送迎ステーションの役割としましては、保護者の通勤時間の状況により、保育所等の開所時間内にお子さんの送迎が難しい場合に、保護者に代わりお子さんを保育所等に送り届けるサービスとして、平成28年度から実施してきたところです。</p> <p>しかしながら、この間、育児に対する社会は、理解の深化に伴う時短勤務の取り組みにより、送迎ステーションを利用する世帯の傾向としまして、保育所等の延長保育時間内に送迎が可能な方が大半を占めており、本来の役割とは離れている状況にあります。</p> <p>また、開設以降は利用者の増加が見込めず、現在は18名の利用者数となるなど、利用者が限定的であり、市内の子育て世帯を対象とした支援としましては公平性が保たれていないという課題もございます。</p> <p>加えて、国等からの補助金を利用しても運営や施設管理が厳しい状況であり、これらを総合的に勘案すると、廃止を検討せざるを得ない状況に至っております。</p> <p>そこで、送迎をサポートできるものとしまして、ファミリーサポートセンターのご利用を一例としてご提案させていただきます。</p> <p>ファミリーサポートセンターとは、子育ての援助を受けたい人と支援したい人が会員となり、子育てについて助け合うしくみです。保育施設等の送迎やその前後の預かりなどをサポートしております。こちらは、当市の「子育てサポート助成事業」の対象となっており、ご利用いただいた場合、年間8万円を上限として助成しております。</p>

	<p>ご家庭の事情は様々あると思いますが、このような助成事業をご活用いただきながら、お子様の送迎を行っていただくことも可能となっております。</p> <p>龍ヶ崎市に引っ越してきて良かったとご夫婦で実感していただきながら、このようなお答えをしなければならないことは、大変心苦しいことではありますが、何卒ご理解をいただけますようお願い申し上げます。今後も市民の皆様が安心して子育てできる環境づくりに努めてまいります。</p> <p>【担当:保育課】</p>
--	---

<p>質問</p>	<p><u>カーブミラー設置のお願い</u></p> <p>龍ヶ崎コミセンの前の道路は出入口がカーブ中央にあり、特に右側方向から来る直進車が死角となり、スピードを上げて来る車が多く、度々ヒヤリハットする事が多く、現実には接触事故が何件か起きています。</p> <p>コミセン利用者の多くは高齢者ドライバーが多いため、せつかく健康指向のために、運動・勉強のために来ている方が帰宅に向かう出口の所で危険な目に合う(事故防止)のをさけるため、ぜひともカーブミラーの設置を提案致します。通っている方々からも大半が切望されているようです。大きな事故が起きてからでは遅いので検討していただきたいです。</p>
<p>回答</p>	<p>龍ヶ崎コミュニティセンターの出入口に対するカーブミラーにつきましては、令和4年9月に地元の住民自治組織からの設置要望をいただき、今年度中の設置に向けて進めているところです。</p> <p>設置工事については、市内全域のご要望をまとめて対応していることから、お待ちいただく場合もございます。ご不便をおかけいたしますが、順番に対応させていただきますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>今後も、市民の皆様が安全・安心を実感できるまちづくりに向け、交通安全環境の向上に努めてまいります。</p> <p>【担当:防災安全課】</p>

<p>質問</p>	<p><u>市内循環バスの運行について</u></p> <p>今から何年か前に乗車代が100円から200円になりました。同時に途端に使用者が減りました。私も全く使わなくなりました。以前はスーパーへ行き、帰りにバスを使っていたのですが、夫と二人で200円から400円になり、家計費がもちません。今まで25日スーパーへ行ったとして二人で5,000円が現在10,000円になりました。</p> <p>ずっとこのまま誰も乗らないバスを走らせるのですか。ガソリン代と人件費のムダでは。私達の税金ですよね。身近な人達はみな怒っています。私はバ</p>
-----------	---

	<p>スの通るコミセンの通りの近くに住んでいますがいつもガラガラのバスです。</p>
回答	<p>コミュニティバスにつきましては、令和元年9月に、運行本数の増加や運行時間の拡大など、いわゆる運行計画の再編を行ったところであり、さらには乗継券や1日乗車券といった新たな料金体系の導入に加え、多くの公共交通機関が乗り入れる関東鉄道竜ヶ崎駅及び龍ヶ崎市役所における待合スペースの整備など、様々な観点から利便性の向上を図ってまいりました。</p> <p>その中で、持続可能な公共交通として、将来に向けて皆様の移動の足を残していくという観点から、一定の受益者負担の考え方により、それまで1乗車100円としていた基本運賃を200円に改定したところです。</p> <p>コミュニティバス全体の利用者数としましては、コロナ禍による一時的な落ち込みは見られたものの、昨年度は延べ21万人以上の方々にご利用いただいております、地域の皆様の生活を支える移動手段として、不可欠なものであると認識しております。</p> <p>そうした中においても、市民の皆様により多く使っていただけるよう、適切な時期を見極めながら、ルートやダイヤの見直しを含めた運行計画の再編を行ってまいりたいと考えておりますので、ご理解のほど、よろしく願いいたします。</p> <p>また、現在本市では、65歳以上の方を対象に、コミュニティバス全路線が自由にご利用いただける高齢者公共交通共通定期券、いわゆる「おたっしゅパス」を1か月3,000円から販売しております。</p> <p>市役所都市計画課及びコミュニティバス運行事業者窓口で販売を行っておりますので、ご購入いただける年齢になられましたら、ぜひご利用をご検討いただければ幸いです。</p> <p>【担当:都市計画課】</p>

質問	<p><u>湯ったり館の今後について</u></p> <p>お尋ねしたいのは、「湯ったり館」の今後についてです。6月頃だったでしょうか、たまたま茨城新聞のネット記事で、「湯ったり館」の経営が厳しく、今後は民間委譲もしくは閉鎖も考えているとの状況を知りました。</p> <p>その後の動向は分かりませんが、一市民としていくつかご意見を申し上げたいと存じます。なお当方は茨城新聞の記事のみの情報しか持ち得ておりませんので、事実誤認がありましたらお許し願いたく存じます。</p> <p>①本件について市民にとっては「寝耳に水」であり、突然の報道に驚きました。市の広報や「湯ったり館」の Web においても、現在も特にそのようなことは記載されておらず、営業を続けていくような印象です。現に広報でも、イ</p>
----	--

	<p>ベントなどが紹介されており、今後の存在が危ういなどとの情報は発信されておりません。</p> <p>公共施設ですから、閉鎖の方向に向かうにせよ、市民への現況の周知は必要かと存じます。庁内の検討のみで物事を進めて、ある日突然に閉鎖ということになれば、いささか「不意打ち」を食らった感は否めません。</p> <p>なお、すでに市の方でも積極的な周知活動を展開されていたのであれば、私の事実誤認ですのでお許しください。</p> <p>②茨城新聞の記事によれば、赤字の状況が続いているとのことでした。その点は理解できますが、直近に関してはコロナ禍の影響も大きいと思われます。データとしてどこまで意味を持つのかは疑問です。</p> <p>③自治体として、公共の温浴施設を保持することは、大きなメリットがあるかと存じます。福祉的側面、公衆衛生的側面、子育て支援・多世代交流の側面、スポーツ振興等々。これらは施設の活用の仕方とも関係しますが、インフラとしては非常に魅力が大きいと思います(今までこのような使い方がされてきたのかは別問題ですが)。</p> <p>また災害時の拠点としては、入浴、宿泊、厨房、避難所といった多機能性を持ち合わせている施設は、自治体としても大きな財産かと思えます。</p> <p>④現在においてもサッカー場は、天然芝の素晴らしい練習環境が整備されており、私も多くの少年チームがスポーツ合宿で利用している姿をよく目にしています。温浴施設と一体化しており、また公共施設としての信頼性が、保護者をはじめとした関係者の魅力を高めているものと推察しております。</p> <p>⑤「湯ったり館」に向かう道路は、桜並木の美しい、市の誇る景観のひとつと言っても過言ではありません。サッカー場の周囲の桜も素晴らしいです。これらも「湯ったり館」が閉鎖となれば、自ずと保全が行き届かなくなってしまわないか、と不安を抱きます。</p> <p>このあたりは小学校の廃校後、市の拠点的な施設が存在しません。夜間の防犯も踏まえて、「湯ったり館」が閉鎖されてしまうと、周囲はかなり寂しい地域となってしまうのではないのでしょうか。</p> <p>赤字が続くことは大きな問題ではありますが、すぐに閉鎖ということになるのであれば、それはいささか時期尚早ではないかと思えます。</p>
<p>回答</p>	<p>はじめに、湯ったり館の今後の運営につきまして、市からの周知が十分に行き届いておらず、市民の皆様にご心配をおかけしましたこととお詫び申し上げます。</p> <p>さて、湯ったり館については、平成12年に農業への理解促進と、農村と都市住民の交流の場を目的に開設した農業公園豊作村の一施設としてオープンし、運営状況に関しましては、報道にもありましたように入館者数の減</p>

	<p>少や施設の老朽化等による工事・修繕費用も影響し、厳しい運営状況が長く続いておりました。</p> <p>そこで、収支改善に取り組んできたところであり、昨年度からは大きく運営改善が見込める抜本的な見直し策について、民間事業者や類似施設のヒアリング等を行いながら検討してきたところです。しかしながら、民間事業者による運営や利用料収入の事業費充当による運営自由度の増幅化、料金体系・営業時間の見直しなど、様々な改善策を実施した場合であっても、現在の状況下では、運営経費のほかに耐用年数を経過した機器の更新や修繕等を要することも見込まれており、これまで同様に運営を継続していくことが厳しいという判断に至り、令和6年3月末をもって一旦休館としたいと考えております。</p> <p>今後は速やかに、湯ったり館を含む農業公園豊作村全体としての事業見直しを行うため、農業公園豊作村の利活用に関して、民間事業者からの提案・意見を募集する対話型市場調査の実施を予定しております。なお、利活用策の検討において温浴施設を排除するものではなく、調査・検討において費用対効果や事業の有効性、将来性など総合的な判断により、民間事業者の運営による温浴施設ヘリニューアルとなる可能性もございます。</p> <p>また、多くの子どもたちにご利用いただいている運動広場の運営及び湯ったり館敷地内の植栽・芝管理等の環境整備については、今後も継続していく予定であります。いただいたご意見も参考に、市民の皆様にもご意見をいただける機会を設けながら、早急に今後の事業運営について調査・検討を進め、新たな農業公園豊作村を見出してまいります。</p> <p>【担当：農業政策課】</p>
--	--

<p>質問</p>	<p><u>市内の樹木の剪定について</u></p> <p>今年は全体的に植物の成長が早いですが、市内全域で垣根や樹木の剪定が不足していると感じます。</p> <p>私の自宅近くにある小中校が並ぶ「ぬく森通り」と「たつのご通り」を結ぶ道路の両脇が特に問題で、免許を取ったばかりの息子も左右確認が難しく、安全に通行できません。私自身も毎日通勤する際に、危険な状況に遭遇することがあります。途中の信号も少なく、抜け道として使用されることが多いため、非常に危険です。</p> <p>また、他の市と比較して景観も損なわれているように感じます。予算や職人の人材不足があるかもしれませんが、この問題に対するご配慮をいただけると幸いです。</p>
<p>回答</p>	<p>市内の街路樹の低木剪定につきましては、業務委託により毎年1回行っ</p>

	<p>ております。</p> <p>ご指摘いただいております城ノ内の道路については、契約時に委託業者に対して早期の着手を指示し、9月27日より順次作業を進めております。併せて、剪定の高さにつきましても、安全面を重視し可能な限り低くするように指示したところでございます。</p> <p>また、高木剪定に関しましては、冬季の実施を予定しておりますが、安全面と景観を考慮しながら実施して参ります。</p> <p>今後の植栽管理につきましては、昨今の気候変動の影響により、樹木の成長スピードも変化していることから、除草作業については実施回数を増やすなどの検討を進めており、実施時期や方法等の見直しに加え、道路パトロールの強化など、適切な維持管理に努めて参りますので、ご理解の程よろしくお願いたします。</p> <p>【担当：道路公園課】</p>
--	---

<p>質問</p>	<p><u>小学生の暑さ対策について</u></p> <p>最近夏休みに入る前、夏休み明けも日差しがきつく、背の低い小学生達はアスファルトからの太陽の照り返しにやられながら登下校頑張っています。NHKのニュースで見かけたのですが小学生が黄色の日傘をつかっていました。これはいい！と思い、担任の先生や校長先生に許可をいただき夏休み明けに使えるよう準備しましたが「みんなが使ってないから…」という理由からか活用してもらえませんでした。日傘を使わないとなると、頭を守るのはビニール素材の黄色い安全帽です。入学時に頂いた小学生らしくかわいい帽子ですが、夏場は頭皮のあせもに悩まされます。黄色い日傘をさせば帽子はいらない、もしくはメッシュ素材の帽子とか。大人はクールビズで対策がありますが、小学生は熱を逃がさない帽子、日陰のない通学路、革の重いランドセル、熱中症対策のための水筒、夏休み前後の大荷物、そして頭皮のあせも。かわいそうになってしまいます。</p> <p>気温が高い時は外での活動をしない、水分をこまめに補給する、以外での具体的な熱中症対策をしてあげて欲しいです。我が子だけではなく、自宅が学校から遠いんだらうなという様子の小学生を見かけると気の毒になってしまいます。</p>
<p>回答</p>	<p>ようやく秋の気配が感じられるようになりましたが、今年の暑さは、9月に入ってもおさまらず、本市といたしましても、熱中症警戒アラートを幾度となく発令した次第です。教育委員会に対しましては、学校での熱中症対策をしっかりと行い、児童生徒の健康を守るように伝えているところです。</p> <p>登下校における日傘については、使用を認めていると聞いておりますが、</p>

	<p>児童生徒や保護者の皆様への周知が十分に行き届いていないことが考えられます。</p> <p>今後、登下校における熱中症対策につきましては、今まで以上に配慮し、子どもたちや保護者の皆様に広く周知していくように、教育委員会へ依頼したところでございます。市内の児童生徒が安全に学校生活を送れますように、私自身も見守ってまいります。</p> <p>【担当:指導課】</p>
--	--

<p>質問</p>	<p><u>バスルート・健康診断・市の名称について</u></p> <p>①済生会病院通院 長山から済生会病院までの通院ルートはサプラで乗り換え必要。乗り換えなしの一本に是非お願いします。</p> <p>②健康診断(集団検診) 骨密度を健診項目に入れてもらいたい。</p> <p>③龍ヶ崎の名称統一 龍ヶ崎市役所、竜ヶ崎小学校など、龍ヶ崎にあるものはすべて「龍」の字と統一すべきです。</p>
<p>回答</p>	<p>はじめに長山地区から済生会病院へのコミュニティバスの運行につきましては、関東鉄道路線バスとコミュニティバス循環ルートで路線の重複が発生してしまうこと、また、長山地区から龍ヶ崎市街地方面への通勤・通学の足として毎日利用されている方への対応が必要であることといった観点から、済生会方面への運行ではなく、長山地区から松葉地区を通り、龍ヶ崎市街地方面への運行としているところです。</p> <p>コミュニティバスは、民間の公共交通が運行されていない地域を補完的に運行するもので、運行ルートの設定に際しましても、これまでの利用実績や運行事業者からの意見、さらには既存の公共交通との役割分担など、様々な視点から総合的に勘案して設定しておりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本市では、ご自宅から指定された目的地までの間を1乗車500円でご利用いただける乗合タクシー「龍タク」を運行しております。</p> <p>市役所都市計画課への利用申込や、ご利用の際の事前予約が必要となりますが、ご自宅までお迎えに上がり、ご要望の済生会病院も目的地としてご利用いただけますので、ぜひこの機会にご利用をご検討いただければ幸いです。</p> <p>次に、集団検診の項目につきまして、骨密度を測定する検診は、骨粗しょう症検診(足のかかと部分に超音波を当てて骨密度を測定する検査)が該</p>

当します。

骨粗しょう症という病気は、加齢とともに骨量が減少して起こる病気で、高齢の男性にも起りうる病気ですが、特に女性に多い病気であり、閉経によるホルモンの分泌低下が骨密度を低下させるため、更年期から高齢の女性に多くみられます。そのため、当市においては、現在、婦人科検診時に20歳～70歳の5歳刻みの女性を対象に実施しております。

一方で、男性の骨粗しょう症は、女性とは異なり、長期間の病気や薬の内服、栄養障害などが原因で起こることが多いことから、早期治療に繋げていく上で、できるだけ医療機関での検査をお勧めしているところです。

しかしながら、今後の更なる高齢化社会の進行を踏まえ、いただいたご意見につきましては、集団検診の充実を検討していく上での参考にさせていただきます。

最後に「龍ヶ崎市」の表記につきましては、昭和29年の市制施行時の官報に掲載された名称により、本来の表記は「龍ヶ崎市」となっております。

しかし、昭和33年の国からの通知により、市町村の名称の字体が常用漢字に無い場合には、常用漢字を用いて書き表すことも、法令上有効なものと同認められる、との見解が示され、次第に「竜ヶ崎市」や「竜ヶ崎市」の表記が混在するようになりました。

このような事態を受け、当市では、平成8年度以降作成する文書や使用する名称については、「龍ヶ崎市」に統一しております。ご意見のありました「龍ヶ崎小学校」も「龍ヶ崎」と表記しています。

一方で、現在でも市内の様々な施設で、「竜ヶ崎」と表記するケースが見られますが、市の管理外の施設については、施設管理者（例えば県立の高等学校であれば茨城県、駅であれば経営する鉄道会社、店舗であれば経営者）がその権利と責任において、固有名詞として表記するものであることから、市役所による変更はできかねるところです。

なお、茨城県に対しましては、平成12年に要望書を提出し、固有名詞を除いたものについては、順次、「龍ヶ崎」に表示を変更する対応をいただいているところです。

一方で、学校や施設の名称などの固有名詞については、条例等で定められていることからすぐに変更できないものや、その歴史的背景や出身者の心情への配慮などから変更が難しいものもあるとのことでございますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

【担当：都市計画課・健康増進課・人事行政課】